

\\ しもやまの魅力や地域の活動を **知って 届けて 広めよう** //

WE しもやま LOVE



花山自治区で健康づくりウォーキングを開催

3月17日（日）、花山自治区のまちづくり組織、花山自治区特別委員会が、市の生涯学習講座を活用してウォーキングイベントを実施しました。当日は、総勢71名の方がイベントに参加しました。

豊田市ウォーキング協会の講師のレクチャーを受け、約6kmのコースを歩き、一部トヨタテクニカルセンター下山の敷地内も歩くことができました。

休憩場所では、保健師による栄養についての講話や、自身の野菜摂取レベルを測定する「ベジチェック」が行われました。「ベジチェック」では野菜の摂取量が少ない方が多くいて、健康について考える良い機会となりました。また、おしるこがふるまわれ、参加者の身も心も温まり、自然と地域内交流が生まれました。



▲「ゆうあい花山」による、おしるこのふるまい



▲植樹したアセビを皆で観察しました



▲豊田市ウォーキング協会の方のレクチャー



▲「ベジチェック」の様子



▲集合写真



しもやまバスの新たな取組を2つ紹介します！

【協賛金制度の開始】

下山地区公共交通協議会では、しもやまバスの利用促進を目的に協賛金制度を創設しました。1口1,000円からどなたでも申込が可能です。ぜひご協力をお願いします。

▼詳細はこちら



【AED（自動体外式除細動器）を設置】

安心安全なまちづくりに向けた救急救命体制を整える取組として、乗車中や運行中に遭遇した緊急事態に備え、しもやまバス2台にAEDを設置しました。



▲設置したAED

特典の内容	対象	協賛金の額
氏名などの掲載	全ての協賛者	指定なし
バス停の設置	事業所又は団体	5口以上
車内広告の掲示	事業所又は団体	10口以上

このコーナーは、地域記者である川合真裕こと「まちや」の連載コラムです。下山に移住・定住された方たちを紹介するとともに、移住・定住者が感じている下山の魅力を発信して、住民の皆さまに下山地区の魅力を再発見してもらうことを目指しています。

第4回は、花沢町に移住された福井芳博さんに取材をしました。

【福井さんのプロフィール】

畑・自転車・DIYをこよなく愛するイケオジ（63歳）長崎県出身で、関西地方を中心に仕事をして転勤で愛知県へ。約3年半前にしもやまの花沢町に移住している。

【福井さんと筆者が出会った経緯】

筆者が市のわくわく事業を活用し実施している、「想家PROJECT」という空き家改修などを通じた関係人口づくり事業がきっかけで出会う。花山に住んでいるが、羽布のことはあまり知らず、もっと知りたいという福井さんに筆者が猛アプローチして関係を深めた。



▲福井さんの趣味の自転車

【しもやまに移住したきっかけ】

元々、下山地区外に住んでいたが、趣味の自転車で阿蔵や三河湖の周りを走り、気持ちがいい場所だと感じていた。そして定年を迎えるタイミングで、老後を都会のマンションで暮らして生きていくのか、毎日畑やDIYをして楽しく生きていくのかを夫婦で考え、思い切って、しもやまへ移住を決意された。

【趣味について】

自転車はずっと継続していて、下山のコースはアップダウンが激しく、自転車好きにはたまらないコースとのこと。

また、しもやまを選んだ理由の一つに薪ストーブをやりたいという思いがあるほどの薪ストーブファン！写真を撮影する際も、この火の揺らぎ方ではいけないと調整するほど(笑)。ぜひ趣味でも、しもやまの方とつながりたいと思っているそうです。



▲福井さんこだわりの薪ストーブ



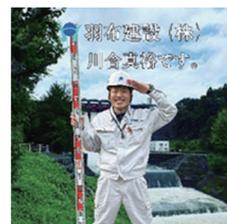
▲まちや(左)と福井さん(右)

【福井さんからしもやまの好きなところをひとこと！】

15年以上前から下山を自転車で走っていますが、とても気持ちがいい景色で、少し道を変えると毎回違う顔を見せてくれるところが好きです。そしてのんびりとした時間が流れているところ。好きなときに自転車や大好きな薪ストーブができて最高です！

これからも楽しく・のんびりとしもやまで暮らしていきたいです。

取材・記事：川合真裕(まちや)：平成4年生まれ。小・中・高校と卓球に明け暮れる毎日。羽布建設の家業を継ぐため現在奮闘中。下山を盛り上げたいという想いを持った同級生5人組「Village Fan's Co.」代表。4月から、里楽暮住(りらくす)しもやま会の委員に就任します！





お雛さま 蔵から出て、みんなに顔を見せてよ！

3月3日のひなまつり。和合集会所近くの大聖寺では、蔵から出てきたひな人形がずらりと並び、表情の違いを探してみたり、笑顔で写真を撮ったりと楽しい時間を過ごしました。「和合自治区を振興しまいか＝みんなで元気でやろまいか！」として始まったイベントで、好評のため昨年の2日間の開催から今年は8日間に拡大して開催されました。

着物でおめかしした子、ひな菓子をもって喜ぶ子、赤ちゃんを連れたご夫婦、去年の噂を聞きつけた人、昔話に花を咲かせる人、福祉施設から見学に来た人など、期間中128人がお雛さまを通して交流しました。

会場には、子どもたちには馴染みのない土人形も飾られていました。これは「三河土人形」と言われるもので、幕末から明治にかけて数多く作られ、昔は碧南からこの下山地区まで売りに来ていたそうです。

土人形も「桶狭間の今川義元と織田信長」、「一の谷の熊谷直実と平敦盛」のように2体1組となっています。代々の家族の想いの詰まったひな人形、みなさんも蔵から出してみたいはいかがでしょうか。



▲かっこいい土人形。様々なペアがあります



地域主体で空き家片づけ大作戦を実施しました！



▲参加者全員で記念撮影



▲片づけ作業の様子

3月10日（日）、野原町にて「空き家片づけ大作戦」と題して、空き家の家財片づけを実施しました。

今回、地域内における空き家の解消に向けた取組として「空き家情報バンク」への登録促進を図るため、羽布自治区及び里楽暮住しもやま会が主体となり行ったものです。

当日は、地域住民及び里楽暮住しもやま会委員だけではなく、おいでん・さんそんセンターに事前応募のあったボランティアを含めて約50人が参加し、安全かつ楽しみながら作業しました。

昼休憩では、地域住民とボランティアが交流を図り、和気あいあいとした雰囲気の中で羽布自治区が用意したお弁当を食べました。

この取組を通じて、家財道具などが片付いておらず、空き家を長年放置してしまっている所有者が、安心して空き家情報バンクに登録していただける体制を構築していきます。もし、お困りの方がお見えでしたら、地域の里楽暮住しもやま会委員や下山支所にご相談ください。



連載コラム「せつつが行く vol.11」 ”ありがとう”を言葉に ～トヨタ工業学園卒業式～



学園生活の緊張感から解き放たれ、無邪気に笑う10代の若者たち。2月20日（火）、トヨタ工業学園（以下、学園）の卒業式が執り行われ、専門部と高等部合わせて249名が卒業し、それぞれの職場に巣立っていきました。

令和3年から始まった学園と下山の地域貢献活動を通じた交流が3年目を終え、下山では学園が無くてはならない存在になっています。学園生が初めて下山を訪れた時は「何をやらされるんだろう…」と不安が表情に出ているように感じました。雨の中、泥だらけになりながら宅地分譲予定地の草刈りや真夏の猛暑の中の竹林伐採など、「困っている人を助きたい」との一心で知恵を絞り、汗をかき、きれいになった場所を地域の方と見て感動を分かち合う瞬間に誰からともなく、『ありがとう』の言葉が聞こえてくるのが今も脳裏に焼き付いています。

卒業式では、中学卒業まで迷惑をかけ続けた母への感謝、父に憧れて父を超えたいと選んだ道、母の声を聞いたら泣いてしまうから連絡しないでと強がった1年時、それぞれの想いからこれまで関わってくださった多くの方々への感謝から自然に『ありがとう』という言葉が出ていました。翌日、お世話になった学生寮とお別れの日には、学園生に寄り添い、時には厳しくきょうだいのように接してきた指導員から「がんばれよ！」の言葉に卒業生から『ありがとうございました！』と笑顔で応える姿が印象的でした。

「249人には249通りの“道”があって良い。自分の道を正解にすればいい」。豊田会長が卒業生に送った言葉です。学園では経験したことない厳しさを乗り越え、「芯の強さと自分以外の誰かを想い、力を尽くす」という考えを身に付けた下山の仲間（学園生）が、いつの日か「ただいま あの時はありがとう」と言って下山に顔を出してくれることを待っています。



▲下山でも活躍してくれた学園生



▲卒業式の様子



▲旗手衛兵が学園旗を旗立台に収める様子



▲卒業証書授与の様子



▲豊田会長からのサインに気持ち新たに次の一歩を踏み出していました



イベント開催情報

森ヨガ体験会 in
三河湖園地を開催します

概要：三河湖を眺めながら森ヨガ体験

日時：5月25日（土）午前10時～12時

雨天延期：6月8日（土）同時刻

場所：三河湖園地（羽布町エス小屋2-1）

申込期間：4月15日（月）～5月15日（水）

申込方法：申込フォームまたは申込票をFAX、メールで [香恋の館](#) へ提出

E-mai：Karen@hm12.aitai.ne.jp



▲申込フォーム



令和6年度 転入、転出者の紹介



令和6年度 転入者



おおはし ふみゆき
支所長 **大橋 史幸**

学校づくり推進課から異動してきました。下山地区のまちづくりに携わることができ、大変光栄です。地域の皆さんと一緒に、楽しく、わくわくするまちづくりにチャレンジしていきたいと思っています。



はなぞの ひろあき
主査 **花園 裕章**

足助支所から異動してきました。11年ぶりの下山支所復帰です。なんか我が家に帰ってきた感じでわくわくしています。他の地域で培ったものや見て感じたことなどを活かしつつ、新たな視点で下山地区を見直して考えたいと思います。いつまでも笑顔で暮らせる下山地区を目指して頑張ります。



すずき けんご
主査 **鈴木 健吾** (新規採用)

4月から新規採用となりました。支所職員として皆様の地域活動を全力でサポートしていけるように頑張るとともに、皆様と一緒に大好きな下山を盛り上げていきます。



いまいずみ ゆうすけ
書記 **今泉 友佑** (新規採用)

4月から新規採用となりました。稲武地区の出身で、山里ならではのアウトドアなことを趣味にしております。1日でも早く下山の地区を知り、地域に貢献していきたいと思っています。

令和6年度 転出者



お世話になりました

成瀬 剛史：産業部へ（右から4人目）

藤堂 泰典：商業観光課へ（左から3人目）

鵜生 浩輔：都市計画課へ（右から2人目）

下山地区データ

(3月1日現在)

人口
3,996 人
(-13)

男性
1,986 人
(-7)

女性
2,010 人
(-6)

世帯数
1,640 世帯
(-2)

発行者情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【 社協下山支所だより 】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp



今年度の重点取り組みを紹介します

Inしもやま
オレンジガーデニングプロジェクト

「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という思いを共有し、楽しみながら花を育て、全国各地で認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせるプロジェクトです。

認知症について考え、周囲の人と話したり、認知症の人と一緒に花を育てたり、人・地域・社会との繋がりをもち、認知症になっても暮らしやすい下山をみんなで創っていきましょう！

種・苗を地域に配る
花を育てる
種まき
種・苗を配る

9月1日「認知症月間」オレンジの花で盛り上げよう

オレンジガーデニングプロジェクト Inしもやま

認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！

豊田市社協下山支所 まどいの丘 ☎90-4005

まどいの丘等にて花の種を配布しています。
※4/1～なくなり次第終了
皆様のご協力をお願いいたします。

【みまもり・ささえあい事業】

『住民が主役のまちづくり』の推進の一環として、講演会等を開催し、地域住民の支えあいの気運づくりを行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう取り組みます。

【防災・減災事業】

災害に対する『備え』の必要性や地域のつながりの大切さを知り、適切な避難行動がとれるよう、防災関係団体の懇談会への参加や、自主防災会と講演会を開催し、地域の防災意識の向上に努めます。

【子どもの居場所作り事業（しもっこ広場）】

長期休暇中の小中学生を対象に施設を開放し、地域住民及び関係団体が講師となり様々なイベントを開催しながら、多世代交流も視点に入れた活動を実施します。子ども同士で多くの体験を通じて、他者との関わり方を学ぶ機会を提供します。

法人化50周年記念ロゴマークが決定しました

豊田市社会福祉協議会は、令和7年10月に法人化50周年を迎えます。それに合わせて法人化50周年記念ロゴマークを作成しました。このロゴマークは、本会が令和7年度に迎える法人化50周年を広く周知するために活用します。



2025年 法人化50周年

【デザインのコンセプト】

『誰もが安心して自分らしく生きられる支え合いのまちづくり』をコンセプトに、あらゆる地域・人を漏らすことなく支える様子を表現しています。また、人・山・川・車・花のイラストで豊田市の魅力を伝え、温かみとぬくもりのあるまちづくりを目指す思いを含めたロゴデザインにしています。



下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650
FAX:0565-91-1030



開館:午前9時~午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) H P: <http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

講座案内



スマイル☆キッズ①

~親子でハワイアンリトミック~

日時: **5月9日(木)**

10時~12時

場所: 下山交流館 視聴覚室

対象: 未就園児親子

定員: 10組 **申込み受付中!**

ラリー講座 Lesson①

~ラリーを学ぼう~

日時: **5月18日(土)**

場所: まどいの丘

対象: どなたでも

ラリーを思いっきり楽しむ

基本の講座

自然体験塾 2024 in 妙楽寺

昆虫採集とちょこつと標本教室

日時: **6月8日(土)**

10時~12時

場所: 根引山妙楽寺

対象: どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

定員: 30人

申込み: 5月11日(土)

9時30分~



※ 詳しくはチラシまたはホームページをご覧ください。



お知らせ



ささゆり下山保存会からお知らせ!!

~ささゆり保護活動ボランティア募集~

日時: **5月12日(日)**

9時30分~12時

場所: 下山交流館周辺のささゆり群生地

内容: ささゆりと雑草を見分けてささゆりの芽に目印をつける

対象: どなたでも (小学3年生以下は保護者同伴)

申込みは下山交流館窓口またはお電話で

(TEL 91-1650)



ちょっとだけ

子育てサロンぷらす

おおきなおへやであそぼう!

すきなことして
あそぼ~♪

11 会議室

10:00~14:00

6/20(木) 同日開催!

プラス
サロン

視聴覚室

9:30~11:30

どなたでも

お気軽にお立ち
寄りください♪



令和6年度職員紹介

☆よろしくお願ひします☆

☆お世話になりました☆

【館長】田中 真澄(豊南交流館より)

【館長】梶 いづみ(稲武交流館へ)

【主任主事】尾崎 敦美(猿投台交流館より)

【主事】清水真由美(松平交流館へ)

【主事】堀 珠紀(稲武交流館より)

本多 淳子(退職)

城殿 明美・原田かおり

【夜間職員】杉本 英雄(退職)

【夜間職員】矢藤 順一・鈴木 吉則

小原 雅文(退職)

後藤 定央・三宅鏡一郎

小幡 実・長野 弘隆

(新人)

(新人)



5月
ロビー展示

よつば会

手作り作品展



曲豆田市指定天然記念物

羽布のカヤ



羽布熊野神社から少し西の大きなカヤは曲豆田市指定天然記念物の木で指定された平成二(1990)年に根回り39m胸高周り34mとあり、今胸高周りを測ると約4mあって今も元気に育っています。近くの百歳にもよればあちこちのよると10歳からこの頃に子ども三人で抱えら水たかか...も二百年以上は生きている木のようです。

カヤは木材としては高級な基礎や将棋盤になる木です。昔の子どもにとっては、カヤの実(羽布のカヤは実の生る雌の木。カヤは雄雌がある木)が貴重なおやつでした。●カヤの実を食べるには、まず木から落ちた緑色の実を踏んで中から出る

マモンゴ形の硬い種を拾い種を桶の水に灰を入れた灰汁水に一ヶ月ほど浸けてアクを抜く。アクが抜けたら洗って干して...

よくすりつぶして殻を割って食べる。干した種の殻を割り中の仁を煎って食べる。洗った種を蒸してから干して殻を割って食べる。中6分の洗皮もんで皮が剥けて食べる。なかま割だけじゃあぬじゃが「カヤ」くか「カヤ」って香ばしい実です。

昔は飢饉の食糧にも使ったので屋敷近くのカヤを植えたことでカヤの木は古く屋敷の止派な木を見かけます。

